

# 医学研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、全ての共同研究機関の長の許可を受けた上で、以下の研究を実施しています。

研究の対象となる方（または代理人の方）で、この研究計画について詳しくお知りになりたい場合は、【問い合わせ先】へご照会ください。

## 【研究課題名】 急性心不全患者における静注心不全治療薬の費用対効果に関する研究

### 【研究の概要】

#### ●研究の目的・方法

日本の心不全診療ガイドラインでは、急性期心不全患者さんへの治療としてナトリウム利尿ペプチド静脈内投与とホスホジエステラーゼ3阻害薬静脈内投与が推奨されています。海外では両者の使用頻度は非常に少ないですが、日本の心不全入院患者さんを対象とした観察研究では前者が30~70%、後者が2~20%とその使用頻度が海外に比べて高いことが示されています。

高齢化とともに心不全患者が増加し、医療費増加が国内で問題となるなか、急性期治療薬として従来使用されてきた静注利尿薬・静注硝酸薬に比べて高額な静注心不全治療薬を用いた治療が、その臨床的効果に見合うかを医療経済学的観点から検討します。

#### ●研究期間

承認日~2023年3月31日まで、研究の実施を予定しています。

#### ●対象となる方等

東京女子医科大学循環器内科およびその関連施設に、平成25年4月1日から平成26年3月31日までに入院され、東京女子医科大学で実施された先行研究「慢性心不全患者の薬物治療・非薬物治療の実態調査：多施設共同研究」に登録された全ての心不全患者さん。年齢や性別は問いません。

#### ●研究に利用する情報と取得の方法

情報：年齢、性別、基礎心疾患、入院時の検査内容と結果および治療内容、退院後の治療と治療病院、再入院の有無の予後

取得方法：先行研究において通常の治療等で得られた診療情報を電子カルテから取得

#### ●研究の実施体制について

代表機関および研究代表者／情報の管理責任者：東京慈恵会医科大学臨床薬理学講座 教授 志賀剛

共同で研究を実施する機関：東京女子医科大学循環器内科 講師 鈴木敦

大分大学医学部循環器内科・臨床検査診断学講座 教授 高橋尚彦

情報の提供を行う機関：東京女子医科大学（学長 丸義朗）

※この研究では先行研究で既に特定の個人を識別できないように加工された情報のみを使用します。

※個人を識別できないように加工された情報は、提供を行う機関から研究代表者が直接受け取り、上記の代表機関・共同研究機関の研究者間で共有されます。

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号など、個人を特定できる情報は削除されています。研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。

**【問い合わせ先（対応時間：平日 9：00 ～ 17：00）】**

代表機関：東京慈恵会医科大学 臨床薬理学講座

研究代表者：志賀 剛（シガ ツヨシ） 電話： 03-3433-1111 （内線：2326）

情報の提供を行う機関：東京女子医科大学 循環器内科

研究責任者：講師 鈴木 敦（スズキ アツシ） 電話：03-3353-8111（内線23110）